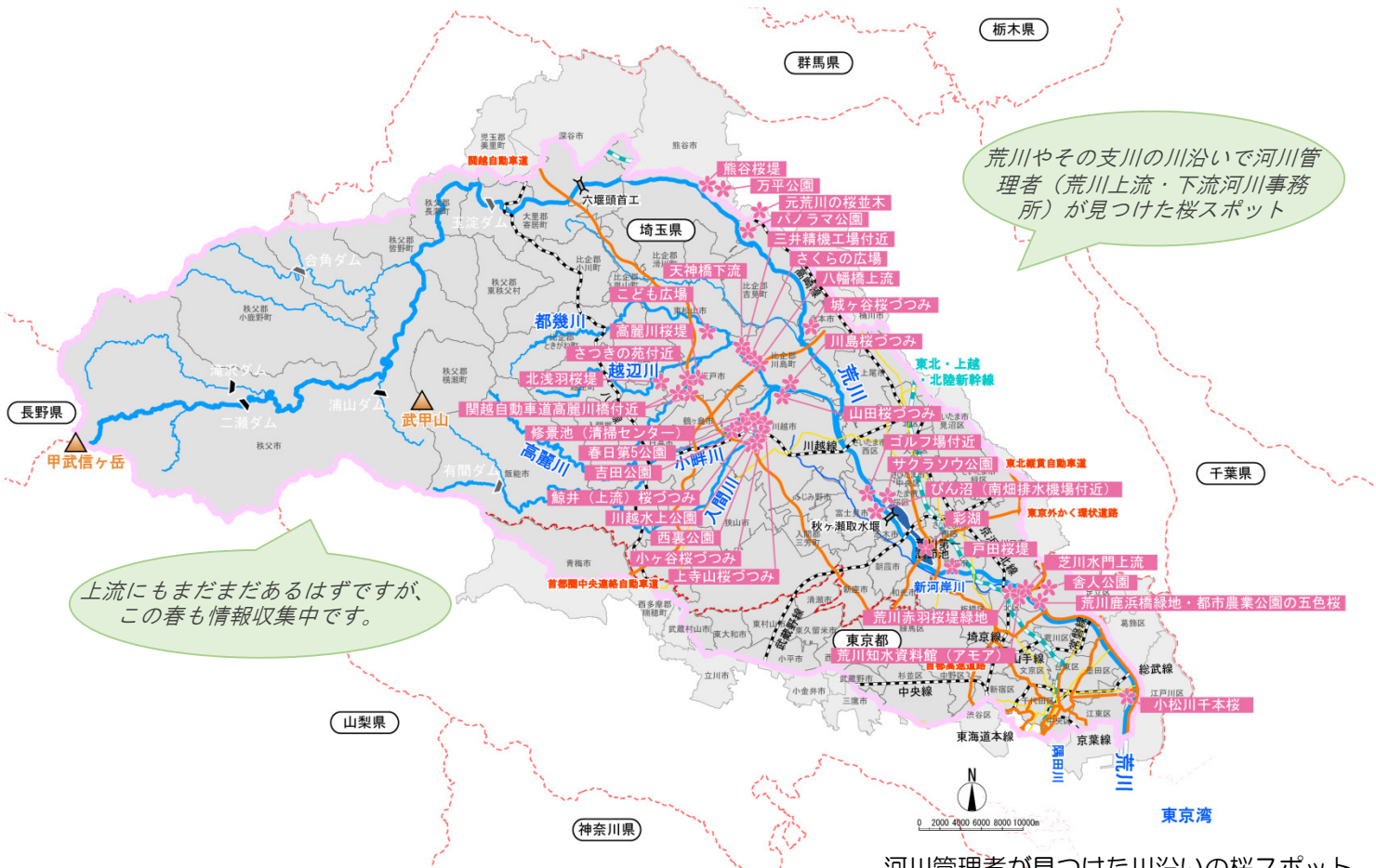


# 春には、荒川と桜

水面に映る桜と水辺の植物とのコントラストや「花筏」が楽しめます。



河川管理者が見つけた川沿いの桜スポット



## 荒川の桜

荒川沿いには、たくさんの桜の見どころがあります。

桜が咲いている間には、水面に映る桜や水辺の植物とのコントラストを楽しむことができ、水辺に散った花びらは帯のように流れ「花筏」となり、美しい風景を見せてくれます。

荒川沿いでは、橋や水門等の構造物との組み合わせや、桜堤等の多様な風景、熊谷桜堤や荒川鹿浜橋緑地など歴史がある桜を楽しむことができます。

桜草公園（田島ヶ原サクラソウ自生地）では、ここでしか見られない、サクラソウとノウルシ、桜のコラボレーションが見られます。



サクラソウ、ノウルシ、桜  
(奥にはさくらそう水門)

## ▶ 主な桜スポットのご紹介

### 【熊谷桜堤】

江戸時代から桜の名所として知られ、「日本さくら名所100選」に選定されています。現在の熊谷桜堤は、荒川の土手沿い約2kmにソメイヨシノ約500本が植えられています。



### 【万平公園】

江戸時代の旧熊谷堤が200mにわたって残っています。当時は約4kmに及び1千本の桜が植えられ、吉野、小金井とならび桜の三大名所と称されていたそうです。

### 【戸田桜堤】

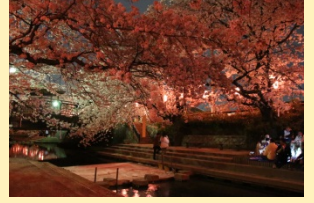
荒川土手の中段、漕艇場側に約110本のソメイヨシノが植えられています。桜堤の土砂には水防用の備蓄土砂としての役割もあります。

### 【小松川千本桜】

1992（平成4）年から、スーパー堤防上に桜の植栽が始まり、2003（平成15）年に1,000本目が植えられました。

### 【元荒川の桜並木】

元荒川は、その名のとおり昔の荒川です。越谷市中島で荒川右岸へ合流しています。吹上駅付近を中心として、昼も夜も美しい桜並木が見られます。



元荒川の桜並木（左：昼、右：夜）

### 【荒川赤羽桜堤緑地】

新荒川大橋と京浜東北線鉄橋の間の土手に約110本の桜が植えられています。荒川と新河岸川の両方が眺められます。



### 【北浅羽桜堤（越辺川）】

早咲きの大寒桜、「安行寒桜」と呼ばれる淡紅色の桜が見られます。

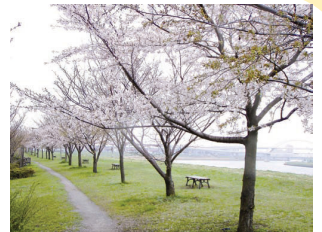


⇒他にも、載せきれないほどたくさんの桜の見どころが！

## コラム 海を渡り、里帰した荒川の五色桜

遠く離れた、アメリカ・ワシントンDCのポトマック川に荒川の「五色桜」があることをご存知ですか。

明治45年、日本とアメリカの友好の印に、荒川の桜（大阪・伊丹で育てられた台木に東京の荒川堤の「五色桜」を穂木として接ぎ木したもの）が首都ワシントンDCに贈られることになり、約3000本のサクラがポトマック川のほとりに植えられました。一方、荒川の桜は、1947（昭和22）年放水路の工事や戦争などで全滅し、そこで今度は植えられたポトマック川の桜が日本に里帰りすることになりました。



荒川鹿浜橋緑地

1952（昭和27）年、足立区区政20周年記念に取り組みされた際にはうまく育ちませんでした。1980（昭和55）年に再度チャレンジし、接ぎ木して増やされた桜が都市農業公園に植樹されました。翌年には、建設省（現 国土交通省）の桜づつみモデル事業として、鹿浜橋緑地にも植樹され、1991（平成3）年には第3回目の里帰りが実現し、次々と荒川沿いに植えられていきました。

そして、桜の縁がつながり、1995（平成7）年、ポトマック川と荒川の姉妹河川提携の調印式が行われました。

### アクセス

#### 熊谷桜堤

交通：JR秩父鉄道「熊谷駅」下車、徒歩約5分  
住所：熊谷市河原町

#### 元荒川の桜並木

交通：JR高崎線「吹上駅」下車、徒歩約5分  
住所：鴻巣市鎌塚2丁目「鎌塚イベント広場」付近他  
都市農業公園（荒川鹿浜橋緑地は徒歩20分）

交通：JR高崎線・宇都宮線・京浜東北線・埼京線・新湘南ライン線「赤羽駅東口」または京浜東北線「川口駅東口」または東京メトロ南北線・埼玉高速鉄道「赤羽岩淵駅」下車、国際バス「鹿浜五丁目」下車、徒歩5分  
東武スカイツリーライン「西新井駅」または都営日暮里・舎人ライナー「西新井大師西駅」よりコミュニティバスはるかぜ「鹿浜都市農業公園行（終点）」下車

住所：東京都足立区鹿浜2-44-1



熊谷桜堤



元荒川の桜並木

